

第四册范文

第一課

東京の人口 過去最多に

東京都の人口が、過去最多となったことがわかりました。東京都は2月24日、「人口の動き(平成15年中)」を発表しました。それによると、昨年2003年の1年間で東京都では、人口が8万9455人増加し、2004年1月1日現在、1237万8974人になりました。人口の増加は8年間、連続しています。

地域別に見ると、23区の人口は834万5183人、市郡部は400万7425人、島武は2万6885人。市郡部では1956年の調査以来、初めて400万人を超えました。また、都心でも約8800人増加し、地下の下落やマンションの建設ラッシュによる都心回帰現象が見られます。

一方、外国人登録人口は35万5289人で、これも過去最多です。国籍別では中国が12万2381人で1位、以下、韓国・朝鮮、フィリピンの順となっています。

「日本語ジャーナル」、2005年8月

モバイル放送、始まる

家電メーカー・東芝などが出演するモバイル放送株式会社が、10月20日、「モバHO!」の全国放送を開始しました。これは、移動端末機向けに有料の衛星放送を行うもので、携帯電話に収まるほどの小型アンテナを使うのが特徴です。

「モバHO!」を視聴するためには専用の端末機が必要で、量販店などで購入が可能。店頭価額は6～7万円程度です。また、利用にあたってはモバイル放送株式会社と視聴契約を結ぶ必要があります。視聴できるのは、経済ニュースなどの映像放送7チャンネル、ヒット曲などの音声放送30チャンネルなどで、映像、音声放送のほぼ全チャンネルを視聴できる標準料金は月額2480円。「モバHO!」では、今後3年間で200万人の利用者獲得を目指すということです。

「日本語ジャーナル」、2006年9月

亡き妻が記した48年 大阪・豊中 浅沼さん

48年間の家計簿が一冊の本になった。大阪府豊中市に住む浅沼毅さん(78)の妻、寿美枝さん(一昨年、76歳で死去)がほとんど毎日つけていた約40冊から、毅さんが



欠席・欠課を繰り返す生徒、目的意識や学習意欲を失いその結果学習不振に陥る生徒、家庭的・経済的に恵まれない生徒など、問題は多様かつ深刻である。また、本校には二次募集による入学者も多く、その中には「学校がおもしろくない」「クラスが楽しくない」「友達がいない」などの悩みを抱えている生徒もいる。それらの結果、出席時数不足による単位不認定、原級留置、休学等から、中途退学につながるケースが多い。これらの問題解決のために、これまでの実践の成果を確認するとともに、新たな取り組みの展開、「個」に応じたきめ細やかな支援と指導の工夫が急務である。全職員が連携を一層強化し、全職員による指導体制を確立するとともに、「個」の気づきや成長を支援する指導を通して、「自ら考え、行動する生徒」、「たくましく生きる力を備えた生徒」の育成をめざして、上記の主題を設定した。

Ⅱ 研究の内容

1 研究の柱

- ① 基本的な生活習慣の確立 ② 基礎学力の向上 ③ 目的意識の高揚
- ④ 帰属意識を高めるホームルーム活動 ⑤ 「個」を重視した指導のあり方
- ⑥ コース制の充実 ⑦ 学校・保護者・地域との連携

2 研究推進の基本方針

- ① 共通理解のもと全職員が一丸となって取り組む。
 - ・全職員が課題意識を持って積極的に取り組む。
- ② 研究班は全職員で構成する。
 - ・定例の研究日を設け、各テーマに沿って研究・討議を行なう。
 - ・各教科・科目、各部、各学年会の立場から研究に参加する。
- ③ よりよい生徒指導、教育実践に役立てる。
- ④ 本校の更なる発展につなげる。

3 研究組織と各研究班の研究主題

校長
教頭
職員会議
各部—中途退学対策委員会—学年会

- |
- ① 学校活性化研究班
 - ② コース検討研究班
 - ③ ホームルーム研究班
 - ④ 生活指導研究班
 - ⑤ 進路学習研究班
 - ⑥ 学力向上研究班
 - ⑦ 教育相談研究班
 - ⑧ 調査研究班

4 おもな取り組み